



今年の出来は過去一番！



右から、とんぼの会会長の埴淵義和さん、副会長の岩崎秀典さんと榎本拓真さん、平澤貴大さん、前会長の平澤一彦さん

生活クラブ米の生産者

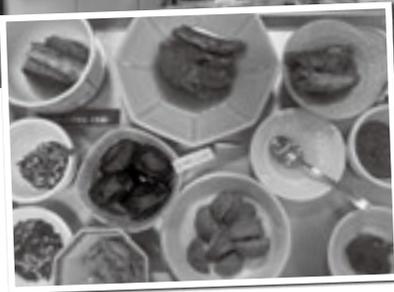
滝川市
江部乙町

とんぼの会と交流会を行いました

バケツ稲コンテスト



組合長賞の遠谷翔子さんが
観察ノートを説明



ごはんのおともは、ふりかけ・昆布巻・
いわし蒲焼き缶など。JA たきかわ
とんぼの会事務局の北野原慎さん
(手前のテーブル左奥) も一緒に試食

滝川市の
名産品やお米を
景品として贈呈



平澤 貴大さん

2024年度 米交流会

1月24日札幌エルプラザにて、本部消費委員会主催で行いました。まず、消費委員会から春の田植エツアー・夏の生きもの調査ツアー・秋の稲刈りツアーなどの産地交流や、米登録活動について報告がありました。その後、とんぼのゆめとご飯のおともを試食し、米三択クイズを生産者と一緒に楽しみました。最後に、前会長平澤さんの息子さん(左写真)が「子どもの頃から生活クラブのみなさんと交流してきました。生産者となった今、交流することが米づくりの励みになっています」と話されたのが、とても嬉しかったです。

〈恵庭支部消費委員長 須藤 香〉

INDEX

2024年度 拡大活動報告
生活クラブの魅力をたくさん伝えました 3

新規組合員歓迎イベント
生活クラブによろこそ！ 4~5

2024年度 生活クラブ福祉基金助成先団体紹介 6~7
一般社団法人 ユアセル/W.Coレラ / 子育て支援ワーカース ぼほら
NPO法人 ナルク札幌手稲わいわい! / グリーフサポート Sachi

生活クラブ Wind



組織活動

支部大会を終え、新年度の活動が始まります。まずは全組合員が取り組む拡大活動としての「4月の一斉チラシまき」です。



一枚のチラシが生活クラブを伝え、共同購入参加への機会となり得ます。その広がり、私たちの消費材の生産を持続可能にしていく力となります。

チラシは、各支部からみなさんの手元に届きます。5〜8月の加入者を対象とした「配達料半額キャンペーン」が載っているのので、4月中にポストインしたり友人・知人に手渡ししたりしてください。



消費委員会

米を筆頭に、様々なものが値上がりしています。何を削って暮らすのかと考えた時、日々の消費に目が向きがちですが、なぜ消費材を選んで食べているのかを考えてみましょう。美味しい、安心、身体は食べたもので作られるなど、一人ひとり理由があると思います。

消費材は、私たちの「このよいうなものを食べたい」という想いを生産者と一緒に形にしたものです。利用しないと生産者は作り続けることができませぬ。せつかく手に入れた消費材が無くならないよう、組合員それぞれが利用しましょう。それが、食の未来を守ることにつながります。



原発ゼロ・市民エネルギー委員会

2月18日、第7次エネルギー基本計画が閣議決定されました。東京電力福島第一原発事故以降盛り込まれていた「原子力依存度の可能な限りの低減」という言葉は削除され、原発帰帰・安全神話復活の路線を改めて明確にしています。これは原発の抱えるコストとリスク、解決不可能な核のゴミ問題から目をそむけるものです。

原発は動かせば動かすだけ核のゴミを生み出します。私たちはこれ以上原発の稼働を容認できません。みなさん、39回目の4・26チエルノブイリデー市民集会（P8参照）に参加しましょう！パレードと一緒に泊原発再稼働反対の声を上げましょう！



文化委員会

主体的に平和について考え、組合員自らが平和な社会を作っていく人になることを目的に、活動を組み立ててきました。そのためにも、歴史を学ぶときに負（加害）の側面も併せて知ることが重要です。

2025年度はヒロシマ平和行動を実施し、憲法や地域の歴史を学ぶ機会も作っていきます。これらの取り組みを柱に、映画や書籍等文化を通じた学びも大切にしていきます。3月31日には札幌の遊郭を題材とした講演会を再度企画し、人権を切り口に学びを深めます。平和な社会とは単に戦争がないことではなく、誰もが人間らしく生きる社会そのものだからです。

2月の理事会から

● 2025年度における理事会体制を決定しました。

● 2月14日、第1回総代選挙管理委員会が行われ、選挙管理委員長決定などの報告がありました。

● 2025年度法定脱退処理者について承認しました。

● 文化委員会より2025年度のヒロシマ・ナガサキ平和行動について、OCRでのカンパ募集の提案があり、決定しました。

● 原発ゼロ・市民エネルギー委員会より、311甲狀腺がん子ども支援ネットワークへの賛同団体登録の提案があり、登録と1万円の寄付を決定しました。

2024

たくさん

生活クラブの魅力伝えました



生活クラブでは、組合員それぞれが拡大活動に取り組みます。2024年度は組織活動推進会議と支部が連携して、さまざまな形で生活クラブの良さを伝えたことで拡大につながりました。

〈組織活動推進会議〉

組合員みんなで拡大しました

2024年度の拡大活動は4月の一斉チラシまきから始まり、展示説明車あみーかによる拡大、くらコミ、生産者とのコラボ拡大、地域イベントへの出展などを行い、各支部の組合員が地域に生活クラブの魅力を伝えました。

秋からは、紹介キャンペーンを軸として多くの方に生活クラブを知ってもらう機会を増やしました。本部主催の食品添加物講座は、開催を知らせるチラシを新聞折り込み

みし、組合員外の参加が多数ありました。9月には雑貨マーケットなど外部イベントへの出展を行い、生活クラブをたくさんの人にアピール。わくわくまつりでは生産者から直接話を聞いたり試食や購入してもらうことで、消費材の良さを伝えました。11月には生産者と拡大試食会を共催。消費材の品質の高さや生産者の想いを知ってもらい、加入の後押しをしました。紹介キャンペーンは、好評につき11月まで延長しました。昨年比5割増しの組合員202人が友人・知人を紹介し、458人に消費材のサンプルを届けることができました。

野本健司先生の食品添加物講座(8/30・31)



札幌市と千歳市で開催。釧路支部は組合員外も誘ってオンライン参加

生活クラブの安全・安心な食への取り組みを伝えました

ボヌール
雑貨マーケット「Bonheur」(9/6・7)



153人がアンケートに回答し、6人が加入

生産者とのコラボ拡大



生産者協力のもと、支部主催で22回開催

わくわくまつり(10/20)



約800人が来場。70人以上から資料請求があり、加入は前年の2倍

拡大試食会(11/5)



組合員32人が友人・知人を誘い、組合員外39人が参加。当日加入は4人

京王プラザホテル札幌のシェフが消費材を使い調理したコース料理

新年度はチラシまきからスタート！

4月の一斉チラシまきは、組合員が気軽に参加できる拡大活動です。普段はなかなか活動に参加できなくても、出資・利用・運営する仲間として、一斉チラシまきをしてみませんか。新たなつながりを生み出す春にしていきましょう。



4月中に
まき終えましょう！



北

2月21日におこなった今年度のウェルカムイベントには、激しい雪が降りしきるなか5人もの新規組合員が参加してくれました。

お手伝いの組合員や運営委員とともに和やかにスタートし、まずは無理なく生活クラブを続けられるようOCR補完システム、ピッキング袋の出し方、牛乳パックの開き方、Rビンの出し方などを実演を交えながら説明しました。参加者みんなでおすすめ消費材を語る場面では積極的に質問があり、関心の高さがうかがわれました。メインイベントは、北区にある料理教室ブルミエールの講師によるデモンストレーション！豚肉とケチャップとソースのなかよし煮、生活クラブ牛乳を使ったカッターチーズの前菜、ホエーで炊いたお米のケーキ寿司など、消費材を使ったお料理を美味しくいただきました。「とても楽しかった」「試食や話にあがった消費材を購入してみたい」などの嬉しい感想もありました。

戸配が増え、班会などで消費材について話す機会も少なくなっている今、こういったイベントを通して生活クラブへの理解を深めることの大切さを実感した一日でした。(運営委員 石田 典子)



ようこそ！

をより知ってもらうためにお便りやメールなど、「新規組合員歓迎イベント」は拡大活動が一段落し向を凝らした内容で開催した様子をお伝えします。

釧路

前年とあわせてこの2年間に加入した新規組合員を対象に、毎年1月にウェルカムパーティーを実施しています。今年は、1月26日に開催しました。新規組合員1人の申込みでしたが、「生活クラブの継続には家族の理解が不可欠！」ということで、ご家族4人で参加してくれました。当日は牛もつ鍋や蓮根はさみ揚げ、スコップケーキ等々、消費材を使った料理を試食しながら、グリーンシステムや石けん運動など生活クラブについて話をしました。食後の後片付けは、もちろん石けんです！

新規組合員からは「世代が違ってても価値観の近い方と知り合う機会があるのも、生活クラブの魅力。お店で探してもなかなかない安心を買える生活クラブは、今の日本にはお守りのような存在だと思っています」との感想がありました。加入時の説明だけでは伝わらない、『美味しいだけじゃない生活クラブ』を堪能してもらうことができホッとしました。ご参加、ありがとうございました！(運営委員 吾妻 理恵)



1999年に誕生した釧路支部は、東は中標津町、西は白糠町が配送エリア。職員は1日でなんと300キロ走る日も！戸配はなく、班のみの支部です。職員も1人だけ。80班365人



本部のイベントにはZoomで参加することも♪



北広島

1月26日、新規組合員2人とその知人の組合員外の方1人をお迎えし、賑やかな交流会となりました。

まず自己紹介をしてから、健康増進講座としてスーパーボールを用いた足裏マッサージ（右下写真）、お尻や背中中のストレッチをして硬くなりがちな冬のカラダをゆったりほぐしました。ランチタイムでは、生活クラブ牛乳をたっぷり使ったミルクラーメンが大好評！持ち寄りの美味しいおかず

もいただきながら、おすすめ消費材のアレコレ、学校給食や野菜高騰問題など話題は尽きませんでした。その後は、ビンゴで大盛り上がり！運営委員の推し消費材が景品です。まだ食べたことがない物を選ぶ人、大好きな消費材だからと選ぶ人など様々でした。最後に生産者とのコラボ拡大イベントへのお誘いをしてお開きとなりました。直接会って交流できるイベントの楽しさや大切さを実感しつつ、自分たちはなぜ生活クラブを選んでいるのかを改めて考える良い機会となりました。（運営委員 松浦 琴）



やや悶絶…



生活クラブは

支部運営委員会では、新規組合員に生活クラブさまざまな方法で伝えています。そのひとつ、1月～2月に行う支部が多いです。4支部が趣向

南

2月16日に開催したウェルカムパーティには、新規加入者11人が参加してくれました。生活クラブについてあれもこれも伝えたくて、予定時間を大幅にオーバーしてしまいましたが、お腹いっぱいワイワイ楽しい会となりました。

運営委員おすすめ消費材を使って料理をしながら、クイズ形式で生活クラブ牛乳や豚肉、石けん、エッコロ、Rびんなどの説明を行いました。また、生活クラブに伝わるお米の研ぎ方や、鶏肉を美味しく焼くコツなどもお伝えし、みんなで試食しました。参加者から「消費材の良さを知ることができました」「味見がたくさんでき、どれも美味しかった」「今度買ってみます！」などの声が多く聞けて、嬉しかったです。

戸配組合員が増え、班会を開くことも少なくなっている昨今ですが、美味しいを分かち合える楽しさ、直接伝えることの大切さを改めて感じ、これからも組合員同士が交流できる機会をつくっていきたいと思います。（運営委員 杉山 恵）



豚肉ミルクストロゴノフ
牛ランプステーキ
ベーコン・ロースハムなど

生活クラブ福祉基金助成先団体紹介

「生活クラブ福祉基金」は意志ある組合員の毎月100円の拠出で、生活クラブがすすめる福祉事業・活動に使われています。また、地域で福祉活動を広げている団体に助成しています。2024年度に助成した13団体から、今回は5団体を紹介します。



子ども食堂の様子。どの世代も孤立させず、子どもの体験格差の解消をめざしています



西区発寒で月1回開催している「つながいずむ」

地域の課題解決に取り組んでいます。
(聞き手／岩野)

助成金では、パンフレット作製や知育玩具、お絵描きセットを購入しました。子どもたちがスタッフと一緒に遊ぶなど、人間関係構築にも役立っています。これからも地域交流を通して互いに個性を尊重し、各々の得意を生かしながら、

「つながいずむ」のほかに、SNSを通じて集まった学生が中心となって若者に居場所や学びを提供する場「つながいずむ」を運営しています。学生スタッフによる学習サポートや人生・進路相談、体験イベントを行い、子ども食堂も合体させた「食事もできる学習支援の場」としての活動も始めました。

活動の原点は、
子ども時代に近所の人と過ごしたこと

一般社団法人ユアセル

代表理事 高橋 智美さん



ボリューム満点！味も最高！

今後、この新しい拠点でイベントなどを行いながら地域交流を重ね、シラを地元住民や学生たちに無くしてはならない存在にしていきたいと思っております。
(聞き手／川瀬)

地区館近くの老朽化に伴い転居先を探していたところ、以前からシラのお弁当を気に入ってくれていた不動産オーナーが、手稲区前田地区にある北海道科学大学生向けの食事つきアパートを紹介してくれました。「学生たちのために」というオーナーの強い思いを受け、30年以上続けてきた宅配弁当や札幌市高齢者配食サービスなどに加えて、親元を離れて暮らす学生たちの朝・夕食を作る事業を受託しました。2024年2月より、週6日間（日曜・祝日休み）の食事を提供しています。当初は不安でしたが親の立場で考え、安心できる原材料でバランスの取れた食事を提供しながら体調管理のお手伝いをしたいと思いました。今では「美味しかった」のひと言にやりがいを感じています。助成金は、既存の業務用機器の移設・取付の費用と業務用ガスコンロの購入に充てました。

地域住民と学生、
ワーカーズとの交流をめざして

ワーカーズ・コレクティブシラ

代表 藤原 由紀子さん

生活クラブ福祉基金助成先団体紹介

「生活クラブ福祉基金」は意志ある組合員の毎月100円の拠出で、生活クラブがすすめる福祉事業・活動に使われています。また、地域で福祉活動を広げている団体に助成しています。2024年度に助成した13団体から、今回は5団体を紹介します。



子ども食堂の様子。どの世代も孤立させず、子どもの体験格差の解消をめざしています



西区発寒で月1回開催している「つながいずむ」

地域の課題解決に取り組んでいます。
(聞き手／岩野)

助成金では、パンフレット作製や知育玩具、お絵描きセットを購入しました。子どもたちがスタッフと一緒に遊ぶなど、人間関係構築にも役立っています。これからも地域交流を通して互いに個性を尊重し、各々の得意を生かしながら、

「つながいずむ」のほかに、SNSを通じて集まった学生が中心となって若者に居場所や学びを提供する場「つながいずむ」を運営しています。学生スタッフによる学習サポートや人生・進路相談、体験イベントを行い、子ども食堂も合体させた「食事もできる学習支援の場」としての活動も始めました。

活動の原点は、
子ども時代に近所の人と過ごしたこと

一般社団法人ユアセル

代表理事 高橋 智美さん



ボリューム満点！味も最高！

今後、この新しい拠点でイベントなどを行いながら地域交流を重ね、シラを地元住民や学生たちに無くしてはならない存在にしていきたいと思っております。
(聞き手／川瀬)

地区館近くの老朽化に伴い転居先を探していたところ、以前からシラのお弁当を気に入ってくれていた不動産オーナーが、手稲区前田地区にある北海道科学大学生向けの食事つきアパートを紹介してくれました。「学生たちのために」というオーナーの強い思いを受け、30年以上続けてきた宅配弁当や札幌市高齢者配食サービスなどに加えて、親元を離れて暮らす学生たちの朝・夕食を作る事業を受託しました。2024年2月より、週6日間（日曜・祝日休み）の食事を提供しています。当初は不安でしたが親の立場で考え、安心できる原材料でバランスの取れた食事を提供しながら体調管理のお手伝いをしたいと思いました。今では「美味しかった」のひと言にやりがいを感じています。助成金は、既存の業務用機器の移設・取付の費用と業務用ガスコンロの購入に充てました。

地域住民と学生、
ワーカーズとの交流をめざして

ワーカーズ・コレクティブシラ

代表 藤原 由紀子さん

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東1丁目4-15 TEL 011(887)8891 FAX 011(887)7226
 2025年3月20日 編集 広報委員会 / W.C.O.P.R.A.N.E.P.O

2025年度 生活クラブ福祉基金 助成先団体が決まりました!



団体名	所在地	助成額(円)
NPO 法人 いしかり地域共生ラボ	石狩市	105,000
NPO 法人 陽向ぼっこ	白糠町	203,500
NPO 法人 たすけ愛ふくろう清田	札幌市	118,000
NPO 法人北海道若年認知症の人と家族の会	札幌市	189,200
音楽ボランティア「ドミノ」	札幌市	62,000
じぶた MAMA	札幌市	117,500
全国ギャンブル依存症家族の会北海道	札幌市	180,000
手稲区「くれよんず」人形劇部	札幌市	50,000
にこにこ広場文京台	江別市	68,467
間借りカフェ 人出てる	札幌市	50,000
労働者協同組合 らしく	札幌市	80,606
一般社団法人 WHO CARES	札幌市	55,431
一般社団法人 ユアセル	札幌市	72,537
自殺予防団体 - SPbyMD -	札幌市	100,000
子育て支援ワーカーズ プチトマト	札幌市	55,180
ぶらっと BOOK	札幌市	251,915

39年目の

4.26 チェルノブイリデー市民集会

日時 4月26日(土) 11:00～12:00
場所 札幌大通公園西6丁目広場
内容

「いらぬ原発! 変えようエネルギー政策」をテーマに、泊原発・幌延町・寿都町の現状報告、福島県からの避難者の声を予定。市民集会終了後はデモパレードを行います。誰でも参加できます。



ニュース

4月1週

主催 4.26 チェルノブイリデー市民集会実行委員会

講演会

かつてこの街に遊郭があった

薄野遊郭、白石遊郭、そしてそれは今に続いている

日時 3月31日(月) 10:00～12:30
場所 札幌エルプラザ 4階 大研修室
内容

民衆史研究家の石川圭子さんを講師に、かつて札幌に存在した遊郭の歴史を学び、今も社会からとりこぼされた若者がいるという現実について考えます。参加費 1,000円。

ニュース

3月1週

主催 文化委員会

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て参加してください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

広報委員とモニターを募集します

広報委員になって、機関誌『チュブ』と一緒に作りませんか? 読者モニターも募集しています。詳しくは、本部川瀬まで。



毎日感謝

白石支部 兼間美和子

最近、世間ではいろいろなニュースがふれている。税金のこと、少子化問題、物価高騰、その他いろいろ。株価が上がり景気は良いはずなのに、豊かな実感はあまりないように思う。テレビに向かってブツブツ言う私に夫はあきれ顔だ。

でも冷静になってよく考えると、私は毎日あたたかい家の中で食事をとり、フワフワのお布団で寝られる。朝になると太陽はキラキラまぶしくて空気が澄んでいるし、夜はお月様も静かに光を放つ。少し郊外に行くと豊かな自然に触れられる。音楽を聴いたり友人と食事したりおしゃべりする楽しい時間もある。普段当たり前だと思っていたことは、本当はとても幸せなことなのではないだろうか。

自分の力ではどうにもならないことに心を痛めるより、自分にできることを一所懸命やり、日常の当たり前のことに感謝して、毎日楽しく過ごしていきたいと思う今日この頃である。

組合員のエッセイを募集します。400字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務便で送ってください。



道産簡伐材を配合した紙を使用しています